

杉並三田会 読書会 2022.7.22(金) 16:00～阿佐ヶ谷地域区民センター
 課題図書 村上春樹「女のいない男たち」(文春文庫) 担当 豊田

村上春樹

- ・1949年、京都市伏見区に生まれ、兵庫県西宮市・芦屋市に育つ。早稲田大学第一文学部卒業。在学中にジャズ喫茶「ピーターキャット」を国分寺に開く(後に千駄ヶ谷へ移転)。79年「風の歌を聴け」(群像新人文学賞)でデビュー。主な長編小説に、「羊をめぐる冒険」(野間文芸新人賞)、「世界の終りとハードボイルド・ワンダーランド」(谷崎潤一郎賞)、「ノルウェイの森」(1987年)、「ダンス・ダンス・ダンス」(「ねじまき鳥クロニクル」(読売文学賞)、「海辺のカフカ」)、「1Q84」(毎日出版文学賞)、「騎士団長殺し」などがある。そのほか短編小説集、エッセイ集、紀行文、翻訳書などの著書も多数。これまでに「ドライブ・マイ・カー」を含む9作品が映画化された(例:トラン・アン・ユン監督「ノルウェイの森」2010年)。
- ・2006年フランツ・カフカ賞、フランク・オコナー国際短編賞、09年エルサレム賞、11年カタール・ニャ国際賞、16年ハンス・クリスチャン・アンデルセン文学賞、22年チノ・デルドゥカ世界賞を受賞するなど海外での文学賞受賞も多く、作品は50以上の言語で翻訳されてきた。
- ・毎年ノーベル文学賞発表の前には、マスコミ等で騒がれ、荻窪駅北口のブックカフェ「6次元」(店主ナカムラクニオ氏、上荻1-10-3)からの中継が有名。
- ・2021年10月に同氏より寄贈された書籍・レコード等をもとに、早稲田大学構内の旧校舎を隈研吾氏が改築に携わった「早稲田大学国際文学館(村上春樹ライブラリー)」が開館した。

(出典: Wiki, 大学HP等)

「おんなのいない男たち」

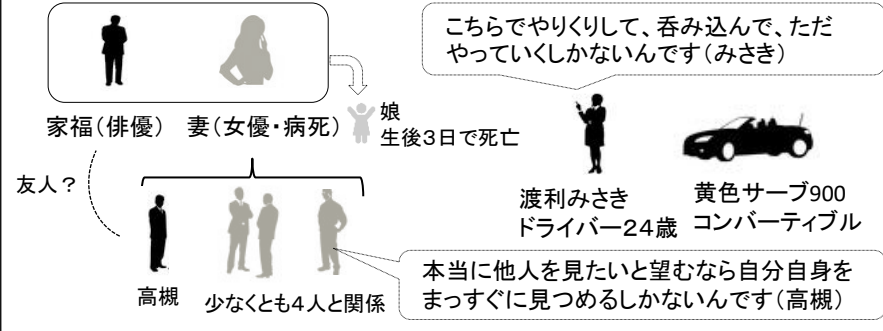
(cf. “Men without Women”アーネスト・ヘミングウェイ(男だけの世界))

【単行本】2014年4月 文芸春秋刊 【文庫版】2016年10月 文春文庫
 *バラク・オバマ元米国大統領が「2019年のお気に入りの本」に挙げる。

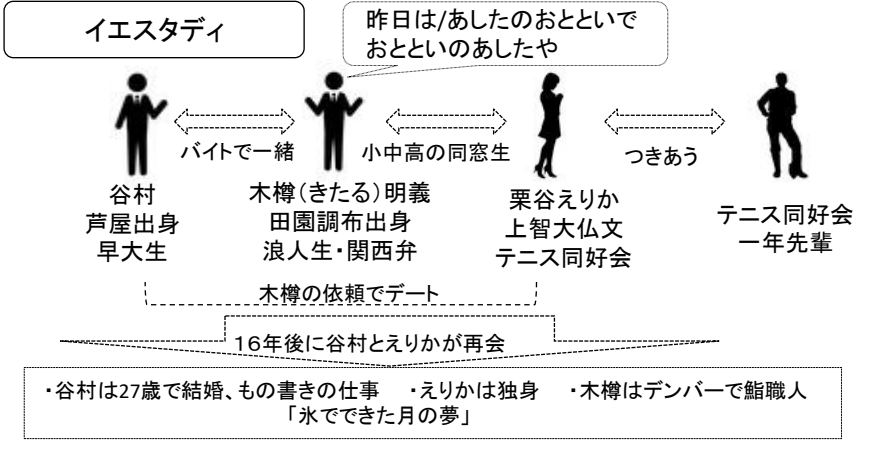
【初出】

- 「ドライブ・マイ・カー」……「文芸春秋」2013年12月号
- 「イエスタディ」……「文芸春秋」2014年1月号
- 「独立器官」……「文芸春秋」2014年3月号
- 「セラザード」……「MONKEY」vol.2 SPRING 2014
- 「木野」……「文芸春秋」2014年2月号
- 「女のいない男たち」……単行本書き下ろし

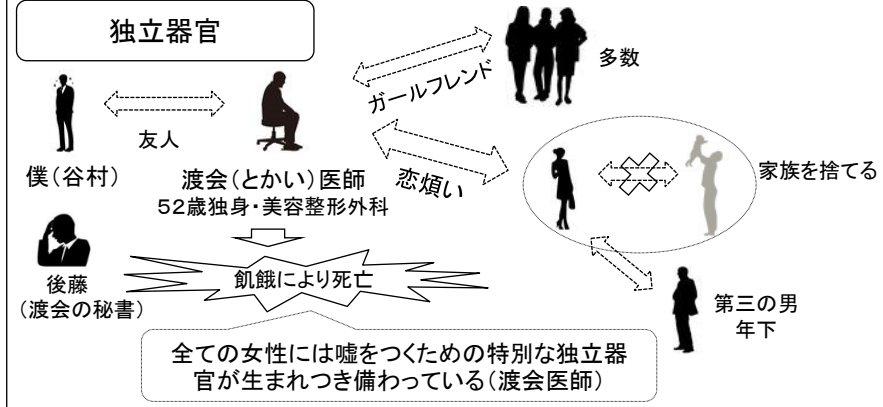
ドライブ・マイ・カー



イエスタディ



独立器官



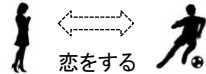
シェラザード



羽原(はばら) シェラザード
ハウス在31歳 35歳子供二人と夫

週二度の訪問手伝いの後ベッドに入り、
営みの後に物語を話す
“私の前世はやつめうなぎ”

空き巣狙いの時代のお話



高校2年の時 同じクラスの男の子

- #1 彼の部屋から鉛筆盗み、タンポン残す
- #2 鉛筆とバッジ盗み、髪の毛3本残す
- #3 脱衣所のTシャツ盗む。残す物は無
⇒#4 ドアの錠前は取り替えられた
(徐々に憧れは薄れ、卒業後は忘れ)
- ☆ 4年後に彼と再会 ⇒ 続きは??

木野



職場の同僚と 伯母の喫茶店
関係を持つ 引継ぐ

バー「木野」のお客達



1人で来店時に木野と関係を持つ。体に火傷の跡

ある日、神田より店を閉めて遠くに行くことを要請され、地方ホテルを転々とする。
宿泊先ホテルのドアを執拗にノックする音、……

“そう、おれは傷ついている。それもとても深く。…そして涙を流した。”

女のいない男たち



妻が自殺したことを
一方的に電話で通知



エムとは

- ・14歳の時、中学の生物の授業で、消しゴムを忘れた際に自分の消しゴムを二つに割ってくれた女の子。⇒一瞬にして恋に落ちる 2年間の付き合い
- ・彼女は、エレベータミュージックが好き。理由はスペースの問題
- ・その後いつのまにか姿を消す。
⇒ “水夫の甘言に騙され、大きな船にのせられて遠いところに連れて行かれた”
孤独感 すべてを失うことへの恐れ

映画「ドライブ・マイ・カー」

■ 監督・脚本 濱口竜介

1979年12月神奈川県生まれ、2008年東京藝術大学大学院映像研究科修了
「寝ても覚めても」18年カンヌ国際映画祭コンペティション部門選出
「偶然と想像」21年ベルリン国際映画祭銀熊賞(審査員大賞)
「ドライブ・マイ・カー」21年カンヌ国際映画祭脚本賞
22年 アカデミー賞国際長編映画賞

■ 原作

村上春樹「女のいない男たち」(文春文庫刊)

映画化に際しては「ドライブ・マイ・カー」のほか、同短編小説集に収録されている「シェラザード」「木野」のエピソードも投影されている。

■ 配役

- ・家福(悠介)…… 西島秀俊
- ・渡利みさき…… 三浦透子
- ・高槻(耕史)…… 岡田将生
- ・家福(音)…… 霧島れいか ()映画版にて命名

■ 劇中演劇

「ゴドーを待ちながら」サミュエル・ベケット

演出を手掛ける家福は自らも役者として舞台上に立ち、外国人の役者と異なる言語で台詞を交わす。背後のスクリーンには日本語、インドネシア語、英語が代わる代わる投影される。

「ワーニャ伯父さん」アントン・チェーホフ

登場人物と配役

- ・セレブリヤコフ(退職した大学教授)……ロイ・ルセロ
- ・エレナ(教授の二度目の妻、27歳)……ジャニス・チャン(台湾)
- ・ソーニャ(教授の元妻の娘)……イ・ユナ(韓国 手話)
- ・マリヤ(教授の元妻の母)
- ・ワーニャ(マリヤの息子)……高槻耕史
- ・アーストロフ(医者)／……リュウ・ジョン
- ・テレーキン(零落した地主)
- ・マリーナ(年老いた乳母)

“時代を超えて愛されてきた演劇要素を大胆に取り入れ、ストーリーと映画内演劇が重層的に呼応しあう驚異的な物語を紡ぎだした”(映画パンフより)

- 車 サーブ900コンバーティブル(黄)⇒サーブ900サンルーフ付き(赤)